

(オプアウト様式)

医学的研究に関する情報公開文書

研究課題名	当科で施行したロボット支援下仙骨脛固定術の治療成績の検討
研究実施機関名および研究責任者 (所属科、職名等)	さいたま赤十字病院 産婦人科 副部長 岡本修平
研究代表施設および代表研究者	さいたま赤十字病院 産婦人科副部長 岡本修平
研究期間	2025年8月1日～2026年4月31日
研究の目的と意義	骨盤臓器脱は子宮、膀胱、直腸、小腸などの骨盤内臓器が脛から下垂・脱出する病態であり、従来から脛式子宮全摘術及び脛壁形成術が行われてきたが、再発率は11～40%と高いことが問題であった。近年メッシュを使用する仙骨脛固定術 (Sacrocopopexy) が行われるようになり、再発率は約1.4%～3.4%と低く、当院でも2020年8月からロボット支援下仙骨脛固定術 (Robot assisted sacrocopopexy : RSC) を導入している。当科で行ったRSCの手術成績、治療成績を検討し、その安全性や有益性を評価すること。
本研究の対象となる方	2020年8月1日～2025年8月31日までの期間にさいたま赤十字病院産婦人科で骨盤臓器脱に対してRSCを受けた方。
提供していただく情報	患者の年齢、Body Mass Index、手術時間、コンソール時間、出血量、手術合併症の有無、女性骨盤底困窮度質問票を用いた症状スコア (手術前後)、客観的再発の有無、de novo 発生の腹圧性尿失禁の有無。
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究

個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。本研究は、文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、対象となる患者さんの個人情報の管理は徹底する。
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 産婦人科副部長 氏名：岡本 修平 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111